

公益財団法人 東京医科大学がん研究事業団 がん研究助成金研究報告書

令和 年 月 日

公益財団法人

がん研究事業団理事長 殿

研究者 (職名)	氏名		所属施設			
	福澤 誠克 (准教授)	〒	施設名 東京医科大学	所在地 東京都新宿区 西新宿6-7-1	電話 03-3342-6111	
研究課題	唾液メタボローム解析による胃癌早期診断法の確立					
研究目的	胃癌の早期診断、治療薬剤や手術技術が進歩したとはいえ、我が国における胃癌の罹患数は約13万人と大腸癌、肺癌、胃癌（2014年統計）の順で多く、未だ胃癌による死亡数は年間約5万人に達している。現在胃癌の診断は、胃透視、上部消化管内視鏡、補助診断としての腫瘍マーカー（CEA）等が挙げられるが、早期発見による根治可能な胃癌症例を増やすために、より正診率が高く、低侵襲で安価なスクリーニング検査が必要であると考え。本研究は唾液のメタボローム解析を用い、唾液中のアミノ酸や糖、ポリアミンなどの代謝物測定により、胃癌の診断用バイオマーカーの確立および精度検索をする。合わせて尿・血液のメタボローム解析による新しいバイオマーカーの確立と有用性の検証、また臨床情報と併せて胃癌の定量的、また客観的特徴を解析し、補助療法の選択、予後予測などに結びつける。					
研究方法	適格性判断・患者同意書・患者登録をする。→ 午前中の唾液・血液・尿を採取する。 → 胃癌患者はESD・EMR・外科手術にて胃癌摘出し、摘出標本検査をする。 → 胃癌摘出術後10日、午前中の唾液・血液・尿を採取する。 メタボローム解析方法は唾液、血液、尿、組織などの代謝物質をイオン性代謝物質（CE-MS）および糖を含む代謝物質（LS-MS）を用いて測定する。 主要評価項目：メタボローム解析により抽出された代謝マーカーによる胃癌の診断率 副次的評価項目：胃癌以外の胃疾患によるメタボローム解析の偽陽性率					
研究成果	現在検体採取開始し、胃癌群と共に正常群の検体も採取している。2020年5月1日時点で胃癌群：12例採取している。（予定症例数：100例）					

様式第3号

公益財団法人 東京医科大学がん研究事業団 がん研究助成金収支決算報告書

令和 年 月 日

公益財団法人

がん研究事業団理事長 殿

研究者所属施設名

氏 名 福澤 誠克

印

収 支 決 算 書

(単位 円)

交付を受けた助成金額		金		300,000円
費 目	明 細	単 価 及 金 額	計 額	
支 出 内 訳	設備、備品費			2,002,637円
	消耗品費			991,277円
	計			2,993,914円
過 △ 不足額				
備 考				

支 出 費 内 訳

区 分	金 額	根 拠
設備、備品費	651,248円	PC
	236,940円	タブレットPC
	440円	振込手数料
	889,264円	カメラ, PC, 周辺機器
	440円	振込手数料
	137,082円	文具, PCソフト
	86,783円	PCソフト
	440円	振込手数料
消耗品費	990,837円	研究試薬
	440円	振込手数料

※注意：旅費（出張費、宿泊費、交通費）は研究経費に入りません。